

幼児期までのこどもの育 ち部会ヒアリング

日本発達障害ネットワーク
副理事長 内山登紀夫

日本発達障害ネットワークの概要

JDDネット (Japan Developmental Disorders network)

- ・ 発達障害者支援法成立時に発足（2004年）してから19年目
- ・ 正会員団体（20団体）：全国LD親の会、えじそんくらぶ、日本自閉症協会、アスペ・エルデの会、つみきの会、日本言語聴覚士会、日本作業療法士協会、日本臨床心理士会、日本精神保健福祉士協会、日本公認心理士協会、日本学校心理士会、日本臨床発達心理士会、特別支援教育士資格認定協会、全日本自閉症支援者協会、こどもの発達支援を考えるSTの会、日本自閉症スペクトラム学会、日本感覚統合学会、日本LD学会、こども家族早期発達支援学会、TEACCHプログラム研究会
- ・ 都道府県ネットワーク（9団体）：JDDネット北海道、JDDネットいわて、JDDネット埼玉、JDDネット福井、JDDネットながの、JDDネット滋賀、JDDネット大阪、JDDネット愛媛、JDDネットかごしま
- ・ エリア会員（27団体）：（北海道・東北ブロック）ぶれいん・ゆに〜くす 他6団体、（関東ブロック）由慎会、日本トゥレット協会 他11団体、（甲信越東海ブロック）アスペの会石川 他2団体、（近畿ブロック）ピュアコスモ 他1団体、（中国・四国ブロック）ダンボクラブ 他1団体
- ・ 企業サポート会員（4団体）：プルデンシャル生命保険株式会社（新津、鈴木）、株式会社Lean on Me、株式会社NTT ExCパートナー

20世紀

健常見（者）

障害児（者）

21世紀

定型発達

発達障害

2010年～

neurotypical
神経学的典型者

neurodivergent
神経学的多様者

脳科学的知見の蓄積

こどもまんなかとアセスメント

こどものア
セスメント

保護者・家庭の
アセスメント

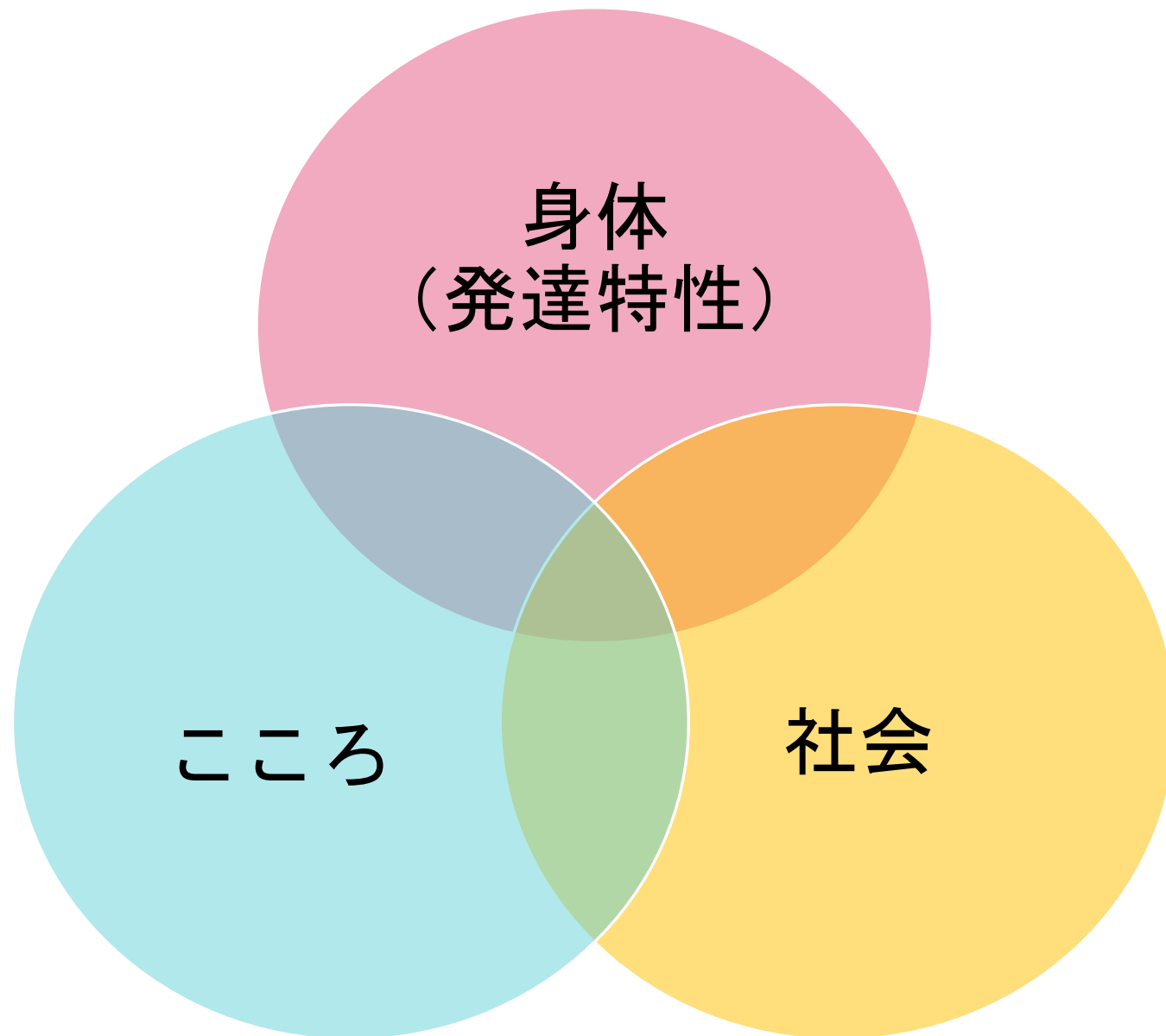
こどもの支援

保育所、認定こども園、幼稚園、児童発達支援センターのニーズ

地域環境・社会資源の把握

アセスメント一個性とニーズの把握

身体・こころ・社会



こどもの幸福 (Well-being)

- こどもの「いま」が幸福であること—幸福とこころが感じていること
 - 「将来のため」に今を犠牲にしない
- 個々のこども、それぞれが幸福であること
 - Special Education→special は特別じゃなくて、こどもの個性・特性を尊重した教育
 - すべてのこどもがspecial→こどもの個性・特性、家庭や地域社会の実情に応じたテーラーメイドの支援を目指す
- 集団適応や「普通」を目指すよりも、個性豊かなこどもが個に応じた幸福をめざす支援

アタッチメント（愛着）

- ・ ひっつくこと

- ・ こどもが不安なときに、安心してひっつける人、安全・安心な場所の提供
- ・ こどもが不安な場面や理由は、個々のこどもの特性により多様
→アセスメントの必要性



社会

- 保護者支援
 - 特に母親がターゲットになりやすい日本社会
 - 母への要求水準が高く、一部の母親は自責的になり疲弊する
 - スマホ禁止、早寝早起き朝ごはんの「一律推奨」など
- こどもと関わりのない人へのメッセージ
 - こどもも大人も自分の個性を尊重できる社会を作ることの提言
 - 大人も安心できる人がいるはず

共有したい考え方

- ・ 多様性の尊重（ダイバーシティ）と社会的包摂
 - ・ 家族支援と専門的アセスメントの導入
 - ・ 子育て支援に障害支援のスキルの逆輸入
- ・ 子育てに悩む保護者、保育・幼児教育の支援
 - ・ これまで蓄積した発達障害向けの家族支援・保育所・児童発達支援センターなどのコンサルテーションの経験の活用
- ・ 質の担保
 - ・ 「外部評価」（発達障害支援のためのコンサルテーションシステム）で主に児童発達支援センターの質の担保の保証
 - ・ 児童発達支援センターから保育所、認定こども園、幼稚園や保育士の支援

社会全体の意識転換を主導する

- ・ 障害は特別ではない
 - ・ 多様性の一部
- ・ 発達障害とアタッチメントの課題のあるこどもも含めたすべての支援
- ・ 障害分野の知見は、すべてのこどもとその支援者に活用できる
 - ・ 「子ども家庭センター」「子育て世代包括支援センター」の公認心理師等の専門家配置
 - ・ 保育所、認定こども園、幼稚園への公認心理師等による巡回相談の充実

誕生前から幼児期までの切れ目のない支援

- ・ 妊婦への支援
 - ・ 発達障害のある妊婦
 - ・ 医療（産科医）、保健（保健師、助産師）、福祉分野との協力・情報共有
- ・ 周産期・乳児期
 - ・ 周産期における母親への相談, 産後ケアの充実
 - ・ 医療（小児科医）、心理（公認心理師）、保健（保健師など）
 - ・ 保護者支援と情報提供・共有
- ・ 乳児期から幼児期

具体的な実現

- ・ こどもへの支援
 - ・ 構造化（わかりやすく、不安のない環境設定）
- ・ おだやか、ポジティブに接することの重要さのアピール
- ・ 個々のこどもにあわせたプログラムの推奨
 - ・ 絵本の好きなこどもは絵本、動画の好きなこどもは動画など
- ・ 集団適応を強要しない
- ・ 保護者のストレスコントロール方法の提唱